

10分でわかる

社会・経済のうごき@しんぶん.yomu

知っておきたい日本経済トピックスを新聞から抜粋しました。(社)長井法人会 (TEL88-3960 FAX88-3823)

国の債務超過、過去最悪の459兆円超

財務省が発表によると、2011年度末の一般会計と特別会計の連結ベースの財務諸表で、負債が資産を上回る債務超過額は過去最悪を更新する459.3兆円に上ることが明らかになった。前年度から41.5兆円も増加している。直近5年間をみると、資産は66兆円減少する一方、負債は110.5兆円も増加しており、債務超過額は累年拡大しつつある。債務超過拡大の背景には、財源不足を補うために大量発行された国債発行残高の増加が主因である。

日本の高校生、公務員希望が最多

財・日本青少年研究所が日米中韓の4カ国の高校生を対象にした調査で、日本の高校生は公務員希望が20%で最多となり、教師(18%)、建築家・服飾デザイナー(13%)、一般事務職(10%)が続いた。「起業」を考える高校生は4カ国で最低の6%にとどまった。同財団では「リスクを避ける安定志向が目立ち、上昇志向は薄い」と分析している。ちなみに、他国での希望する仕事の第1位は、米国が医師、中国が起業家、韓国は建築家・デザイナーだった。

公立小中での震災対応備蓄、30%弱に

文部科学省の学校安全調査によると、大規模災害を想定した飲料水や非常食などを備蓄しているのは、全国約3万校のうち3割未満にとどまることが明らかになった。公立小中高で備蓄している学校の割合を備蓄品ごとに見ると、飲料水が28%、非常食が26%、毛布・寝袋が28%となっている。他方、私立の小中高の備蓄割合をみると、飲料水が67%、非常食が63%、毛布・寝袋が56%で、私立校での備蓄割合が高く、公私の格差がみられた。

中小でも賃上げ意欲が広がる

内閣府と財務省がまとめた2013年1~3月期の法人企業予測調査によると、中小企業の利益配分先(複数回答)として、「内部留保」が59.9%でトップに挙げられたが、次いで、「従業員への還元」が52.9%が続いた。「従業員への還元」は前年調査から7.4ポイント上昇し、初めて5割を超えており、新政権の経済政策に対応した中小企業での賃上げ意欲の拡がりが見られる結果となった。

2040年人口、全都道府県で減少

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の全国の推計人口は1億727.6万人となり、2010年を100とした場合、2040年の指数は83.8となること明らかになった。本格的に人口減少が進展し、全都道府県で将来推計人口は減少する。最も人口減少が著しいのは、秋田県の64.4(2010年=100)で、次いで青森県の67.9(同)が続いた。また、総人口に占める65歳以上の割合も36.1%となり、人口減・高齢化がますます加速する。

米アップルが携帯電話シェアの首位に

調査会社IDCジャパンの集計によると、2012年に国内で出荷された携帯電話のメーカー別シェアで初めて米アップル(シェア率23.3%)が首位になった。全出荷台数は4040万台で、このうちスマートフォン(多機能携帯電話)は2848万台となり、全出荷の70.5%を占めた。米アップルがシェア首位となった背景には、日本での人気がある「iPhone 5」の堅調な販売がある。

株価、5年ぶりの高値水準に

2012年度末の東京株式市場の最終売買(3月29日)での日経平均株価は1万2397円91銭となり、前年度比で約23%上昇し、5年ぶりの高値水準となった。年末の衆院選での自民党圧勝と新政権でのデフレ脱却に向けた経済政策、さらには日銀の金融緩和策を背景に株価が大幅に上昇した。ただ、円安という為替相場を背景にした株高だけに、キプロス金融危機やイタリア政局混乱などで円高に再突入しかねないことを危惧する向きもある。

理想の上司、池上氏と天海氏が

明治安田生命保険が今春就職予定の新社会人を対象にした「理想の上司」の調査結果によると、男性部門でジャーナリストの池上彰氏、女性部門では女優の天海祐希氏が選ばれた。池上氏は3年連続、天海氏は4年連続で首位となり、不動の感がある。同社が、男女それぞれの部門で、ベスト10入りした著名人の傾向を分析した結果、男性部門では親しみやすさや指導力を求める傾向にあり、女性部門では頼もしさや姉御肌の印象ある人が人気だとしている。